

テーマ：キラッとピカピカ

西中延保育園（品川区）

テーマ設定の理由

昨年度、ふわふわもこもこをテーマに活動をする中で、他の感触や色の違い、角度による光の変化に気づき関心を広げていった。前年度と視点を変えてこのテーマを設定した。

対象年齢・人数

5歳児 17名

◆事例1 活動名：ヒヤッとピカピカ

活動のねらい

- ・氷や光を使って輝きや氷の冷たさを感じたり、発見を楽しんだりする。

用意した環境

- ・園庭にテーブル、大きな氷2台、桶を設置する。
- ・カラーセロファン、小さい氷、水、雨どい、塩、絵の具、透明のボウル、コップ、懐中電灯を用意する。

活動内容

- ・氷の冷たさや心地よさを感じながら、溶かす、光を当てる、くっつける、姿を映して遊ぶ。

子どもたちの様子

氷の大きさに驚きながら、霜が解けて透明になっていく様子を楽しんでいた。塩や水に着けてみたときの溶け方、光り方の違いや、セロファンが張り付く様子に夢中になっていた。

保育者の振り返りと気づき

夏季に氷遊びを設けてから、今回の活動につなげることで、遊び方が広がった。大きい氷だからこそ、友達同士で顔を映し、解けきる瞬間まで興味を持つなどの関心につながった。



◆事例2 活動名：お天気ピカピカ

活動のねらい

- ・空のキラッとピカピカについて知り感じたことを伝え合ったり、表現したりすることを楽しむ。

用意した環境

- ・気象予報士さんを招く。
- ・パソコン、プロジェクター、暗幕を設置する。
- ・キットパス、綿、アクリルパーテーション、懐中電灯、雑巾を用意する。

活動内容

- ・大画面での画像を交えながら、気象予報士さんのお話を聴く。
- ・お話を受けて、空でキラッとピカピカするものをテーマにアクリル板に絵を描いたり、光を当てたりして楽しむ。

子どもたちの様子

オーロラや雷の映像にくぎ付けになったり、偏光シートを通した光の変化に目を輝かせたりしていた。色や輝きの変化を他のものに例え、雷の音や雨の音にも関心を広げる様子がみられた。

保育者の振り返りと気づき

子どもたちの発想からオーロラや雷、星など空のキラッとピカピカを設定したが、実際に大きな画面で輝きを見て、臨場感を感じられたようだった。子どもたち同士でイメージを広げ、アクリル板にキラッとピカピカを表現する活動につながった。



◆事例 3

活動名：キラッとおほしさま

活動のねらい

- ・プラネタリウムで星の輝きを疑似体験し、興味、関心を広げていく。
- ・観たものや感じたものを表現し楽しむ。

子どもたちの様子

事前に手作りプラネタリウムを作って遊んでいたため、期待感がより高まっていた。プラネタリウムが始まると歓声が上がっていた。自分の星座や、月の大きさを実際に映像や模型で体感し、「ぼくの星座見つけた」「おおきいね」と感想を伝え合っていた。コマを作り、回して月と地球が浮かび上がってくると、「わぁ」と声をあげて何度も回していた。

用意した環境

- ・5歳児室に星座や星の図鑑を置いておく。
- ・移動プラネタリウムを招く。
- ・紙コップ、段ボール、カラーセロファン、ラメテープ、黒ビニール袋を用意する。

活動内容

- ・移動プラネタリウムを招き、星の話を聴いたり、星空を眺めたりする。
- ・事前に手作りプラネタリウムを作る。

保育者の振り返りと気づき

子どもたちの関心をきっかけに、環境を設定し活動していくことで、子どもたちも次々に新たな疑問や関心につなげていった。それにより主体的に発見を発言したり、新しい疑問が生まれたりしている。活動を楽しみながら生きる力が育ってきている様子があった。



キャリングプラネタリウム



◆事例4 活動名：キラッとピカピカ探し

活動のねらい

- ・キラッとするものやピカピカするものを探す中で、発見したことを友達と共有して楽しむ。
- ・発見したことを元に、新しい遊び方、楽しみ方を見つける。

用意した環境

- ・発見したキラッとピカピカを5歳児室に掲示する。
- ・懐中電灯、クリスタルラキュー、透明な器、カラーセロファン、食紅、スポンジ、ラメ粉、水など、子どもの発見に合わせて用意する。

子どもたちの様子

キラッとピカピカしたものを見つけるたびに、友達に知らせて観察する姿が見られた。食紅で作った黒い色水に光を当てると、赤や緑に変色するのを見つけ、同じものを作ってみようとしていた。ラキューに光を当てたり、スノードームを作ったりした際はしばらくうっとり眺めて、穏やかな時間を過ごしていた。

活動内容

- ・透明な器と色水を使って遊ぶ。
- ・塩の結晶を観察する。
- ・クリスタルラキューを使って遊ぶ。
- ・スノードーム、センサリーボトルをつくる。
- ・キラッとピカピカするものを探して絵を描く。
- ・お化け屋敷作りに、カラーセロファンや懐中電灯を使用する。

保育者の振り返りと気づき

光や水の揺らめきを楽しみ、長い時間ゆったりとした時間を過ごす姿があった。キラッとピカピカ探しをする中で、自然と星や天候などへの興味関心につながっていった。きれいと感じたものを、友達や家族にも見せてあげたいという気持ちや、見せるための方法を考えるといった成長が見られるようになっていった。

